

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
名称		株式会社 鳥海高原ユースパーク			電話番号		0184-55-2929		
所在地		秋田県由利本荘市矢島町城内字花立96番地			FAX番号		0184-55-2921		
設立年月日		平成4年5月29日			HPアドレス		http://youthpark.jp/		
2 資本金		60,000千円		市出資金		50,250千円	市出資割合 83.8 %		
3 事業内容		1. 花立地区周辺施設の管理運営(花立クリーンハイツ、簡易宿泊施設、花立体育館) 2. 乳製品の製造並びに販売(花立牧場工房ミルジー) 3. 上記の関する一切の事業							
4 財務状況(平成31年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜き			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	36,947	38,862	38,338		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	133,052	140,822	104,946
	負債	39,046	38,684	41,462		(内市からの補助金・指定管理料)	12,500	12,870	13,061
	(有利子負債)	28,000	28,000	30,800		経常利益	1,266	2,461	△ 2,188
	純資産	△ 2,099	178	△ 3,124		当期純利益	1,082	2,277	△ 3,302
	利益剰余金	△ 62,099	△ 59,822	△ 63,124		減価償却前当期利益	1,869	3,051	△ 2,632
5 役職員の状況(平成31年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)		6 (退 1)		正職員数(うち市出向者・退職者)		9 (退 0)			
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(平成31年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)				
①補助金(助成金)		0	400	1,024	ガラス瓶ロータリー充填機修繕費補助金 他				
②利子補給		0	0	0					
③税の減免額		0	0	0					
④その他		0	0	0					
小 計		0	400	1,024					
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額		0	0	0					
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用		0	0	0					
小 計		0	0	0					
合 計		0	400	1,024					
【参考】指定管理料(税込)		11,643	13,500	13,500	花立地区周辺施設、農林水産物処理加工施設ほか				
(2) その他(平成31年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度					
①損失保証契約に係る債務残高		0	0	0					
②貸付金残高		0	0	0					
③出資金(増資等)		0	0	0					
合 計		0	0	0					
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第27期決算報告書(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 2 7 期)

自 平成 3 0 年 4 月 1 日

至 平成 3 1 年 3 月 3 1 日

株式会社 鳥海高原ユースパーク

由利本荘市矢島町城内字花立 9 6 番地

0 1 8 4 - 5 5 - 2 9 2 9

第27期 事業報告

事業概況

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の業務に対し、格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度第27期の決算を終えましたので、概況をご報告申し上げます。

平成30年度の我が国経済は、穏やかな回復が続いているとされておりますが、県内の経済実態を見ると、消費者の動向は人口減少などにより消費意欲は伸び悩んでいる現状にあると実感しております。また、本年夏に相次いだ自然災害により、個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられました。

このような経済状況のもと、昨年度指定管理の管理運営から撤退した宿泊センター「ユースプラトー」の売上がないこともあり、今期総売上高は前期比25.2%減の8,995万円となりました。

各営業部門別の売上実績では、サービス部前期比47.4%の2,708万円となりますが、今期はユースプラトーの営業はしておりませんので、比較のために除いた前年比は12.8%減となりました。また、ユースプラトーの後始末整理による支出が66万円計上しております。

製造部においては、人口減少による宅配戸数の減少などで、前期比8.5%減の6,287万円を計上しております。また、移動販売車においては、今期は人員確保等の問題もあり稼働回数が減少しましたが、来期に向けて今後の対策を検討し来期は多くのイベントや祭りに参加して各商品のPRに努めて参ります。また、来期には消費税増税やこれに伴う原材料費の増嵩も懸念され、各部門商品の値上げも検討して収益の改善に努めて参ります。

今後は各部門の取引先や営業先の見直しを行うとともに、営業体制や人員の配置等細部にわたり精査を行い、売上の向上と経費の圧縮につとめ、収益性向上による健全経営を目指し、役職員一同邁進して参りますので、今後ともよろしくご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

部 門 別 事 業 報 告

サービス部

「高原の駅 花立クリーンハイツ」

鳥海山麓観光案内拠点として、リニューアルオープン3年目が経過しました。天候に左右される立地条件にありますが、今期売上高は前期比23.2%減の、1,306万円を計上しました。この減少要因としては、5月の大型連休の悪天候で売上げが伸びなかった事や、昨年度9月に開催された大型イベント開催までの期間に、毎月のように土日を中心にお客様が全国からイベントの下見においでになった事が今年度はそれがなく、全体的に減少した事が影響したものと考えます。

また、経費面においても、適正な人員配置と原材料管理に努め、固定費と原価負担の改善を推進して収益確保に努めて参ります。

「スキー場レストラン ビッグベア」

前期とほぼ同時期にオープンした他、今期は正月等天候にも恵まれましたが、今期売上高は前期比3.3%減の765万円を計上しております。また、経費面においては、売上において経费率前期比2.6%の削減を行いましたが、経常利益63万円の計上となりました。今期は人手不足なこともあり、製造部より人員を派遣をしており、人件費の減少が図れたものと考えます。

今後も、人員配置の効率化と経費の節減に努め、収益性の改善に努めて参ります。

「コテージ」

例年、天候に左右されて利用状況は変動しますが、昨年度管理運営から撤退した宿泊センター「ユースプラトー」に昨年度まで利用いただいた、学生によるスポーツ合宿が、今期はコテージに宿泊していただいた事もあり、今期売上高は前期比3.6%増の637万円を計上し、事業計画に沿ったものとなっております。

今後は、ホームページ、ガイド誌等によるPRを強化しながら、エリア全体を一括した売込み推進を図って、業務拡大に努めて参ります。

製造部

「ミルジー工場 移動販売車」

今年度は、自然災害が多発した年であり7月には西日本を中心とした豪雨被害、9月には北海道胆振東部地震が発生し、全道が一斉に停電する事態が発生して、酪農現場では生乳の廃棄を余儀なくされ、本州への生乳供給が停止し、一部の店頭で牛乳製品が姿を消すなど、主産地である北海道の影響力の大きさと安定した供給の重要性を改めて考えさせられました。しかしながら、乳製品市場の競争は更に厳しさを増しており、高品質製品を目玉としている当社商品と、他社一般製品との販売価格の違いを消費者へ認識していただく事が今後の拡大の重要な課題となっております。

このような中で、今期工場売上高は、前期比7.3%減の6,042万円の計上となりました。自社製品売上シェア約20%の市乳は、宅配戸数の減少による落ち込みもあり前期比7.4%減となり、売上シェア約47%のソフトクリームは前期比2.1%減となりました。ヨーグルトに関しては、前期比10.3%減と既存商品の落ち込みはありますが、この1月より秋田県内の学校給食への納品が決まり、昨年度の学校給食受注と比較すると19.5%増となり来年度の受注を期待しております。

移動販売車については、各種イベントに参加して参りましたが、今期は稼働回数が減少し、今期売上高前期比31%減の245万円を計上しております。来期は既存の出店場所の他、週末の大型ショッピングセンター等に出向き稼働回数を増やし、当市のPR車として多くのイベントや祭り等に参加してより一層販売拡大に努めて参ります。

貸 借 対 照 表

2019年 3月31日 現在

株式会社鳥海高原ユースパーク

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	22,660,263	【流動負債】	41,003,690
現 金	494,392	買 掛 金	4,465,401
預 金	5,250,127	短 期 借 入 金	30,800,000
売 掛 金	4,905,249	未 払 金	2,042,743
商 品	409,008	未 払 給 与	2,498,361
製 品	3,717,463	未 払 法 人 税 等	184,000
原 材 料	1,284,261	未 払 消 費 税	963,500
貯 蔵 品	5,335,563	預 り 金	49,685
立 替 金	186,538	【固定負債】	458,136
未 収 入 金	1,077,662	リ ー ス 債 務	458,136
【固定資産】	15,677,744	負 債 の 部 合 計	41,461,826
【有形固定資産】	14,150,804	純 資 産 の 部	
機 械 装 置	8,127,451	【株主資本】	-3,123,819
車 両 運 搬 具	1,541,600	資 本 金	60,000,000
工 具 器 具 備 品	4,081,453	利 益 剰 余 金	-63,123,819
リ ー ス 資 産	400,300	そ の 他 利 益 剰 余 金	-63,123,819
【投資その他の資産】	1,526,940	繰 越 利 益 剰 余 金	-63,123,819
出 資 金	10,000	(うち当期純利益金額)	-3,301,795
差 入 保 証 金	1,500,000		
リ サ イ ク ル 預 託 金	16,940	純 資 産 の 部 合 計	-3,123,819
資 産 の 部 合 計	38,338,007	負 債 及 び 純 資 産 合 計	38,338,007

損 益 計 算 書

自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月31日

株式会社鳥海高原ユースパーク

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
食 堂 売 上	12,771,103	
売 店 売 上	7,929,527	
宿 泊 売 上	6,378,387	
乳 製 品 売 上	62,870,219	
売 上 高 合 計		89,949,236
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	376,114	
食 堂 仕 入	5,265,653	
売 店 仕 入	4,402,724	
工 場 仕 入	630,129	
合 計	10,674,620	
期 末 商 品 棚 卸 高	409,008	
商 品 売 上 原 価		10,265,612
当 期 製 品 製 造 原 価	43,935,961	
合 計	43,935,961	
製 品 売 上 原 価		43,935,961
売 上 原 価		54,201,573
売 上 総 利 益 金 額		35,747,663
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		52,877,846
営 業 利 益 金 額		-17,130,183
【営業外収益】		
受 取 利 息	41	
受 取 配 当 金	100	
雑 収 入	2,645,092	
管 理 受 託 料	12,037,038	
受 取 手 数 料	314,050	
営 業 外 収 益 合 計		14,996,321
【営業外費用】		
支 払 利 息	19,930	
貸 倒 損 失	34,360	
雑 損 失	7	
営 業 外 費 用 合 計		54,297
経 常 利 益 金 額		-2,188,159
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	929,636	
特 別 損 失 合 計		929,636

科 目	金 額	
税引前当期純利益金額		-3,117,795
法人税等		184,000
当期純利益金額		-3,301,795

令和元年度(株)鳥海高原ユースパーク事業計画

1. 経営理念

地域企業として自立をめざし、地域に根ざしたサービス・特産品を育み地域の誇りを創造する。

2. 経営ビジョン

- ・顧客満足度ナンバーワンを目指す。

3. 経営目標

①収益力アップによる経営の健全化推進

- ・直営店：ジャージーハウス・花立クリーンハイツ・レストランビッグベアの営業力強化
- ・移動販売車（ミルジー号）の稼動回数アップによる確実な売上利益確保

②集客力アップによる売上アップ

- ・限定商品開発による集客力アップ
- ・チーズ新商品開発による集客力アップ
- ・ここに来たくなる、観光地としての魅力度アップのよる集客力アップ

③食品工場として安全安心な製品作りの徹底

- ・土台は「5S」HACCP推進の原動

④次年度のホップステップ基礎固め

- ・修繕、設備備品更新箇所の選定、費用負担区分確認と投資予算策定

4. 令和元年度の主要施策

①収益力アップによる経営の健全化推進

(ジャージーハウス)

- ・わざわざ来たくなる、魅力ある牧場併設「高原カフェ」としての改装投資計画立案
- ・ここでしか食べられない限定メニューの開発
- ・情報の発信（ホームページ、SNS等）

②集客力アップによる売上アップ

(花立クリーンハイツ)

- ・客単価向上による売上アップの戦略
- ・観光地として、導入必要な商品の品揃え
- ・観光情報誌等のネット予約活用による利用頻度アップ
- ・イベント実施（花立牧場公園元気アクション事業）

(ビッグベア)

- ・来場者の購買頻度が高い商材の導入
- ・閉店以降、ナイターナイター営業終了時刻までカバー出来る商材の導入
（セルフ式ドリップコーヒーマシンの導入により、リピーターを囲い込む）

(移動販売車 ミルジー号)

- ・電源確保可能な大型ショッピングセンターでの展開
- ・県内人口集中地である秋田市内での展開を実施してみて採算性を確認

③食品工場として安全安心な製品作りの徹底

- ・食品衛生7S、5S活動

日常的：①整理 ②整頓 作業的：③清掃 ④洗浄 ⑤殺菌

総合的：⑥躰 ⑦清潔

※HACCP認定工場としての優位性を活かす

④次年度のホップステップ基礎固め

(工場) 利益の源泉

- ・安全安心な製品作りへの投資
- ・チーズ製造設備拡大
- ・新製品生産ライン
- ・新製品の大手卸への流通・品質担保
- ・主力商品ソフトクリーム原料とソフト機械のセット営業
- ・大規模改修工事

(花立クリーンハイツ) 秋田県を代表する観光地として相応しい店

- ・地域特産品を活用した、ご当地メニューの開発
- ・お土産品として買いたくなる品揃え
- ・オリジナル土産品の開発

(コテージ) 居住性の追及

- ・家具の更新
- ・露天風呂
- ・半自炊（朝食をサポート）

(ジャージーハウス) 高品質生乳を活かしたメニュー

- ・ここへ来たくなる改装
- ・ここへ来たくなるメニューの開発
- ・地域ナンバー1の展望のアピール

(移動販売車 ミルジー号) 確実な利益を生む大事な武器

- ・ソフトクリーム機械、2連への更新
- ・顧客を誘引する販促物
- ・発電機対策

(ビッグベア) 来場者が欲しくなるメニュー

- ・ドリップコーヒーマシン導入により、ナイター終了までカバー
- ・気軽の食べられるファーストフードの提供

以上

第28期(令和元年) 損益計画書

(単位:千円)

ミルジー部		売上高	粗利金額	粗利率	販管費金額	販管費率	営業損益金額	営業損益率	営外損益高	営外損益率	経常損益金額	経常損益率
工場	27期(18年)実績	60,419	16,370	27.1%	23,325	38.6%	-6,955	-11.5%	7,039	11.7%	83	0.1%
	28期(19年)計画	63,138	17,237	27.3%	24,182	38.3%	-6,945	-11.0%	7,261	11.5%	316	0.5%
	対前年増減	2,719	867	0.2%	857	-0.3%	10	0.5%	222	-0.2%	233	0.4%
		4.5%	5.3%	-	3.7%	-	0.1%	-	3.2%	-	280.3%	-
資料展示室	27期(18年)実績	-	-	-	1,037	-	-1,037	-	1,389	-	352	-
	28期(19年)計画	7,652	5,356	70.0%	2,908	38.0%	2,449	32.0%	1,389	18.2%	3,838	50.2%
	対前年増減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
移動販売車	27期(18年)実績	2,451	1,977	80.7%	923	37.7%	1,054	43.0%	0	0.0%	1,054	43.0%
	28期(19年)計画	3,882	3,125	80.5%	1,456	37.5%	1,669	43.0%	0	0.0%	1,669	43.0%
	対前年増減	1,431	1,148	-0.2%	533	-0.2%	615	0.0%	0	0.0%	615	0.0%
		58.4%	58.1%	-	57.7%	-	58.4%	-	#DIV/0!	-	58.4%	-
ミルジー部 合計	27期(18年)実績	62,870	18,347	29.2%	25,285	40.2%	-6,938	-11.0%	8,428	13.4%	1,489	2.4%
	28期(19年)計画	74,672	25,718	34.4%	28,545	38.2%	-2,827	-3.8%	8,650	11.6%	5,823	7.8%
	対前年増減	11,802	7,371	5.3%	3,260	-2.0%	4,111	7.2%	222	-1.8%	4,334	5.4%
		18.8%	40.2%	-	12.9%	-	59.3%	-	2.6%	-	291.0%	-

サービス部		売上高	粗利金額	粗利率	販管費金額	販管費率	営業損益金額	営業損益率	営外損益高	営外損益率	経常損益金額	経常損益率
クリーンハイツ	27期(18年)実績	13,061	6,873	52.6%	10,696	81.9%	-3,823	-29.3%	3,895	29.8%	71	0.5%
	28期(19年)計画	13,309	6,921	52.0%	10,914	82.0%	-3,993	-30.0%	3,900	29.3%	-93	-0.7%
	対前年増減	248	48	-0.6%	218	0.1%	-170	-0.7%	5	-0.5%	-164	-1.2%
		1.9%	0.7%	-	2.0%	-	-4.4%	-	0.1%	-	-230.6%	-
コテージ	27期(18年)実績	6,372	6,372	100.0%	6,667	104.6%	-295	-4.6%	2,322	36.4%	2,027	31.8%
	28期(19年)計画	6,691	6,691	100.0%	6,998	104.6%	-308	-4.6%	2,315	34.6%	2,007	30.0%
	対前年増減	319	319	0.0%	331	0.0%	-13	0.0%	-7	-1.8%	-20	-1.8%
		5.0%	5.0%	-	5.0%	-	-4.3%	-	-0.3%	-	-1.0%	-
ビッグバア	27期(18年)実績	7,646	4,155	54.3%	5,071	66.3%	-916	-12.0%	290	3.8%	-626	-8.2%
	28期(19年)計画	7,799	4,289	55.0%	5,147	66.0%	-858	-11.0%	290	3.7%	-568	-7.3%
	対前年増減	153	134	0.7%	76	-0.3%	58	1.0%	0	-0.1%	58	0.9%
		2.0%	3.2%	-	1.5%	-	6.3%	-	0.0%	-	9.3%	-
サービス部 合計	27期(18年)実績	27,079	17,400	64.3%	22,434	82.8%	-5,034	-18.6%	6,507	24.0%	1,472	5.4%
	28期(19年)計画	27,799	17,901	64.4%	23,059	83.0%	-5,158	-18.6%	6,505	23.4%	1,347	4.8%
	対前年増減	720	501	0.1%	625	0.1%	-124	0.0%	-2	-0.6%	-125	-0.6%
		2.7%	2.9%	-	2.8%	-	-2.5%	-	0.0%	-	-8.5%	-

事務所		売上高	粗利金額	粗利率	販管費金額	販管費率	営業損益金額	営業損益率	営外損益高	営外損益率	経常損益金額	経常損益率
事務所 合計	27期(18年)実績	0	-	-	5,158	-	-	-	-8	-	-5,150	-
	28期(19年)計画	0	-	-	5,000	-	-	-	-10	-	-4,990	-
	対前年増減	-	-	-	-158	-	-	-	-2	-	160	
		-	-	-	-3.1%	-	-	-	-25.0%	-	3.1%	

		売上高	粗利金額	粗利率	販管費金額	販管費率	営業損益金額	営業損益率	営外損益高	営外損益率	経常損益金額	経常損益率
全社 合計	27期(18年)実績	89,949	35,747	39.7%	52,877	58.8%	-11,972	-13.3%	14,927	16.6%	-2,189	-2.4%
	28期(19年)計画	102,471	43,619	42.6%	56,605	55.2%	-7,986	-7.8%	15,145	14.8%	2,179	2.1%
	対前年増減	12,522	7,872	62.9%	3,728	29.8%	3,986	31.8%	218	1.7%	4,368	34.9%
		13.9%	22.0%	-	7.0%	-	33.3%	-	1.5%	-	199.6%	-